

栃木県におけるICT活用工事の普及に関する取り組みについて

栃木県県土整備部技術管理課

1 はじめに

ICT 活用工事とは、国において 2016 年度から、建設現場の生産性向上を目的に推進されている「i-Construction」に基づく取組です。ICT（情報通信技術）を活用し、測量・設計・施工・施工管理・検査までの 5 工程で、建設現場の省力化・効率化を図るものです。

主な活用手法としては、ドローン (UAV) による 3 次元測量、ICT 建設機械での施工及び 3 次元設計データを活用した出来形管理などが挙げられ、これらにより、工程全体を 3 次元データで一体的につなぐ施工が実現されます。



2 とちぎインフラDX構想での位置付けと現状

インフラ分野の業務をデジタル技術により変革し、安全性・効率性・サービスの向上を図るための県の戦略として、令和 5 (2023) 年 3 月に「とちぎインフラ DX 構想」を策定しました (令和 8 年に一部改訂)。本構想では、「ICT 活用工事の促進」を重点取組に位置付けており、県発注工事における実施率は令和 6 年度に 28.3%、令和 7 年度に 43.1% (完了工事ベース) と、年々上昇しています。

● ICT 活用工事 実績



3 課題と今年度の取り組み

ICT 活用工事の推進にあたり、技術力の高い企業が牽引し上昇傾向となっていますが、一方で、未経験者は ICT 活用工事を敬遠し、技術導入が進む企業と従来手法に留まる企業との間で二極化が進んでいます。

そこで、未経験者による ICT 活用を後押しし、実施への「はじめの一步」を踏み出してもらうため、令和 8 年度に新たに ICT 関連機器の導入費と人材育成費を対象とした補助制度を創設しました。

令和 6 年度 ICT 活用工事の実績 (県内業者数ベース)

	全体	SA	A	B	C
ICT経験済/業者数※	154/1,025	46/53	83/206	24/211	1/555
割合	15.0%	86.8%	40.3%	11.4%	0.2%

※栃木県の入札参加資格 (県内) をもつ業者数



4 おわりに

ICT は、皆さんの作業を楽にするための手段です。最初は手間に感じる部分もありますが、現場の実情を踏まえながら一緒に改善していきますので、引き続きご協力をお願いします。